

ノロウイルス感染を予防する消毒方法

消毒液の作り方 家庭編

ノロウイルスは感染力が強く、家族など身近な人が発症するとまわりの人うつしてしまうことがあります。正しい消毒方法で感染を防ぎましょう！

ノロウイルスに効く消毒方法

ノロウイルスに効く消毒方法は「85℃ 1分以上の加熱」と「塩素系漂白剤」での消毒です。

ウイルスが調理器具などにつくと食品を汚染して、食中毒の原因になります。

また、家族が感染したときは、まわりの人うつさないようトイレのドアノブや水道の蛇口なども消毒しましょう。

熱湯で消毒

調理器具などは十分に洗い、熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱をしましょう。煮沸するか、熱湯をゆっくりかけるなどの方法で消毒してください。



塩素系漂白剤で消毒

十分に洗ったあとに、塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）で消毒しましょう。

調理器具、おもちゃなど
消毒液に10分くらい漬けてから水ですすぎます。

ドアノブ、水道の蛇口、階段の手すり、便座、トイレの床など・・・

消毒液をたっぷりと布に染み込ませて拭いた後、10分くらいしてから水ぶきします。

塩素系漂白剤は、金属を腐食したり、布製品が色落ちしたりすることがあります。金属に使用した場合は、水拭きも忘れずに！

消毒液の濃度

塩素系漂白剤は、消毒の目的に合わせて原液を水で薄めて使用しましょう。

日常の消毒には・・・

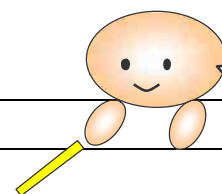
0.02%次亜塩素酸ナトリウム液

おう吐物や排泄物などにより汚染された場所や物の消毒には・・・

0.1%次亜塩素酸ナトリウム液

《次亜塩素酸ナトリウムの濃度》

濃度	商品名（例）
1%	ミルクボン、ミルトン
5～6%	ジアノック、ハイター、ブリーチ



色々な種類があります。原液の濃度を確認して薄めましょう。

消毒液(次亜塩素酸ナトリウム液)の作り方

次の式に当てはめると、消毒液を作るときに必要な原液の量を計算できます。

$$\frac{\text{作りたい消毒液の量} \times \text{作りたい濃度(%)}}{\text{原液の濃度(%)}} = \text{原液の量(ml)}$$

0.1% 次亜塩素酸ナトリウム液 を作るとき 【おう吐物等の消毒】

2Lのペットボトル + 漂白剤のキャップ 2杯(40ml) → 0.1%消毒液 2L

500mLのペットボトル + ペットボトルのキャップ 2杯(10ml) → 0.1%消毒液 500ml

0.02% 次亜塩素酸ナトリウム液 を作るとき 【日常の消毒】

バケツ 水5L + 漂白剤のキャップ 1杯(20ml) → 0.02% 消毒液5L

0.1% = 1000ppm、0.02% = 200ppm

今回は、「おう吐物などが付着した衣類などの消毒方法」です。

札幌市東区保健福祉部健康・子ども課生活衛生係
 札幌市東区北10条東7丁目 711-3213
<http://www.city.sapporo.jp/higashi/>